

平成29年度 地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金
(エネルギーシステムモデル構築事業) 採択結果 (一次締切分) について

平成29年6月28日

採択結果について

評価委員会での審議に基づいて厳正な審査を行い、以下の事業について採択が決定しました(採択決定日:平成29年6月28日)。

なお、今後の参考として、採択された案件で評価の高かった項目および不採択となった案件で評価の低かった項目に関する委員会からのコメントについても別紙に掲載しておりますので、ご参照ください。

平成29年度地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金(エネルギーシステムモデル構築事業)
採択者一覧(一次締切分)

採択事業者	申請地域	補助事業の名称
株式会社CHIBAむつざわエナジー 千葉県長生郡睦沢町	千葉県長生郡睦沢町	むつざわスマートウェルネスタウンにおける地元産ガス 100%地産地消システム構築事業
東京都市サービス株式会社 横浜市	神奈川県横浜市	再エネ融通型DHCによるエネルギー面的利用推進事業
浦添分散型エネルギー株式会社 浦添市	沖縄県浦添市	浦添市でだご浦西駅周辺開発地域におけるスマートシティ 開発におけるエネルギー供給事業およびエネルギーマネジ メント事業

以上 3件

＜参考＞

1. 採択された案件で評価の高かった項目に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
環境性	<ul style="list-style-type: none"> 補助事業として特定設備（自費や他の補助金等での導入設備も含む）を導入することで、システムの省エネルギー、省CO₂の効果が従来方式に比して向上すること。 	<ul style="list-style-type: none"> コージェネの熱の有効利用による省エネが図られている。CO₂も安定して削減可能である。 省エネ率・省CO₂率とも非常に高く、有効である。 規模は小さいが省エネ率・省CO₂率とも評価できる。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を交付することで経済的に成立し、その事業の運用が継続できること 費用対効果、投資回収年数が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模開発であり地域の経済に大きく貢献するものと思われる。 定期的に安定した負荷の保証が前提であるが、回収年数が非常に短い。
先導性・新規性	<ul style="list-style-type: none"> 他地域への普及に向けた先導性があり、得られる成果が今後の指針となるものや、幅広い成果の活用が期待されること。 他事業において過去採択された事業において類似の事例がない若しくは少なく、分散型エネルギーの地産地消等の課題を解決するための優れた特性を有するものであること。 	<ul style="list-style-type: none"> CEMSとBEMSを連携させるとともに、蓄電池によって需給調整が図られている。 温泉付随ガスの活用等地域特性を活かした最適なシステム設計である。 多様な建物用途が組み合わせられた大規模な面的利用である。 大掛かりなシステムではないが、機能を絞り込んでおり、現実的と考える。 地域の多様なエネルギー資源を有効活用し、電力・熱ともに面的利用を実現している。地産地消の取り組みにふさわしいと考える。 下水再生熱・排温水の利用に特徴が認められる。 熱の面的利用について多様化を図っていて評価できる。
事業者適格性	<ul style="list-style-type: none"> 適切な実施体制及び財務基盤を有していること。 設備の保守整備計画について具体的に記載し、補助事業完了後も継続的に実施できること。 	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザルコンペ等の厳正な審査を経た経験豊富な事業者である。 体制、O&M(運転管理・保守点検)等課題はない。 地方自治体が共同で運営している。
事業実施確実性	<ul style="list-style-type: none"> 事業内容が具体的に記載されており、かつ実施体制、方法、スケジュールが効率的かつ確実に実施可能なものであること。 事業に必要な機器、システム類の仕様が定まっていること。（基本設計、容量計算が完了している等） 補助事業を達成、継続するための原材料の確保がされていること。 関連する許認可や法規制の検討、事業者間や供給先、近隣との調整、事業用地確保について、完了していること又は確実であること。 	<ul style="list-style-type: none"> 一貫した計画となっている。 経験が認められ指摘事項なし。 確実性が高く、具体的なものになっている。

1. 採択された案件で評価の高かった項目に関する委員のコメント（続き）

資金計画	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達先、方法について具体的に記載し、計画に妥当性があること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体、公庫、金融機関等のバックアップによって、信頼性の高い体制となっている。 ・自己資金での計画であり、財務基盤も健全である。
災害等リスク対応	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時の事業継続性（BCP等）を想定する場合は、非常時のエネルギー供給について検討していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NaS電池とガスコジェネを活用することで、停電対策に十分に配慮されたシステム構成となっている。 ・機械室を4階に設置し、洪水時への対応が図られている。 ・蓄熱槽の水が非常時用として確保されている。 ・防災拠点であるとともに、自営線によって近隣の住宅地にも供給を担保している。
その他特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における経済の発展、雇用の創出、生活の豊かさの向上に資する等、地域に密着した事業であること。 ・再生可能エネルギーの面的利用について内容が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済への貢献は大きい。 ・全体としてエネルギーの多様化を図っていて評価できる。 ・地域の主体が連携した事業である。

2. 不採択となった案件で評価の低かった項目に関する委員のコメント

評価項目	評価ポイント	委員からのコメント
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助事業として特定設備（自費や他の補助金等での導入設備も含む）を導入することで、システムの省エネルギー、省CO₂の効果が従来方式に比して向上すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ率・省CO₂率が限定的である。
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金を交付することで経済的に成立し、その事業の運用が継続できること ・費用対効果、投資回収年数が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投資回収年数が非常に長い。
先導性・新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域への普及に向けた先導性があり、得られる成果が今後の指針となるものや、幅広い成果の活用が期待されること。 ・他事業において過去採択された事業において類似の事例がない若しくは少なく、分散型エネルギーの地産地消等の課題を解決するための優れた特性を有するものであること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DRやAIの適用は現状では目新しい事項ではない。 ・面的利用については、ほぼ一建物に近い。 ・一般的なエネルギーシステムと違いがない。 ・エネルギーシステム・BEMS・運用面について、特筆すべき事項がない。 ・特段の新規性は認められない。過去の案件と同様である。
その他特筆すべき事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における経済の発展、雇用の創出、生活の豊かさの向上に資する等、地域に密着した事業であること。 ・再生可能エネルギーの面的利用について内容が優れていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水平展開を考慮すると、地方都市では規模的な問題からエネルギー密度も異なり、モデル検討として十分でないことが想定される。 ・再生可能エネルギーの利用が考慮されていない。

※その他、全体的な話として、概要書に詳細なエネルギーバランスが書かれていない、とのコメントあり。 以上